議案第55号

全員賛成で認定

議案第51号

44 5 % 強化を。県で保険料が るため認定は否としま 映されにくい制度であ 度で、市町の努力が反 決まり市町が支払う制 健康診査の受診率は 受診勧奨の

ていくことなどを期待 市としてやるべきこと 活を確保するために、 し可とします。 と個別にアプローチし 元気な高齢者の方の生 医療費の縮小に向け

賛成多数で認定

反対討論 議案第52号

型介護施設など、身近 少は、サービス付き高 るという点で国への支 政的に立ち行かなくな ありません。地域密着 低所得者向け施設では えたとのことですが 齢者住宅の入所者が増 援強化を働きかけるべ な所に施設が必要。財 介護施設待機者の減

きとし認定は否としま

賛成討論

す。 ので問題なく可としま を十分、解消していく センターが動き出した ところで、今後の課題 4つの地域包括支援

議案第53号 賛成多数で認定

議案第54号 全員賛成で認定

全員賛成で可決

7%、残りをどう促進 議案第55号 下水道普及率98 及び認定

ていただいています。 うに進めきれていない 地域を決めて順次回つ 促進事業委託をして、 現状。また下水道普及 整備ができない状況の クリアが必要。すぐに 河川法の制約で要件の していくのか。 ところもあり、思うよ 法的制約、例えば

全員賛成で可決

議案第43号

ついて の駆除にかかる費用に 間 有害鳥獣(小動物) 主な質疑

ます。 振興課から檻を貸し出 が多発しており、農林 農作物被害、家屋被害 し、捕獲を市民が行い る特定外来生物による 答 有害鳥獣に該当す

年間約850万円安く でのメリットについて から都市ガスへの変更 の使用燃料をLPガス なる試算です。 問 学校給食センター 都市ガス化により

内容について 向けた施設整備工事の 国スポ・障スポに

内部の柵や鉄格子等の 室改修工事と、体育館 総合体育館の更衣

曲は。

繰越金額と令和5

1

の採用となったためで れ、その後、7月から 用が4月当初ありまし たが、数週間で退職さ コーディネーターの採 ヤングケアラー

るべく提案されている 年度の決算で認定され 実質収支額が合わない

計歳入歳出決算書の認 令和5年度一般会 5件

三雲駅・甲西駅前

85万3千円の差額の理 業費に移行した際の 費と虐待防止対策事 層的支援体制整備事業 事業から、それぞれ重 員の報酬費を母子保健 ポートプラン作成支援 コーディネーターとサ を取り換え交換します。 ヤングケアラー

理由について

修繕を行います。

なのか、また、台数は、 入れ替えなのか、修繕 設置の防犯カメラは、 老朽化により、カード 西駅前3台の計4台を 答 三雲駅前1台、甲 レコーダーとカメラ等

場合、未充当額として おり、今年度未充当の

ツクシマツ保全事業 5年度の寄付金が2億 と歴史文化遺産の事 子額2万7千円をウ 52万495円と利 前年度未充当額1,8 を今回の補正で減額し 702万6,506円 り、その差額1億4 455万495円とな 定で合わせて2億6. 業等に活用しま 4,600万3千円と た。当初4億円の予 基金に残します。令和

全員賛成で可決

正予算にて計上します。 の差異が生じた40 194円は、次回の補 の間違いであり、そ 補正予算を計上する時 の間違いはありません。 査も済んでおり、数字 定につきましては、

湖南づくり応援基金繰 7つの事業に充当して 湖南づくり応援基金は 補正予算の予算説明書 会計歳入歳出決算書と 入金が令和5年度一般 との金額の違いは。 ふるさときらめき ふるさときらめき て計上しました。 ず、今回の補正予算に 当初予算で上げておら 以降の保守点検経費を 年間であったのに12月 料保守点検期間は、 般撮影装置を更新。 について 託に要する経費の増額 装置に係る保守管理委 診療所のX線一般撮影 議案第45号 議案第44号 昨年12月にX線一 水戸診療所と石部 全員賛成で可決

議案第46号

全員賛成で可決

ターへの相談管理シス する委託料です。 れにあるデータを移行 導入後、4ヶ所それぞ 委託される予算なのか。 にあるデータを一括で ターそれぞれのところ 所の地域包括支援セン 託するとあるが、4カ ムに移行する業務を委 存の相談記録をシステ テム導入にあたり、既 議案第47号 相談管理システム 地域包括支援セン

全員賛成で可決